よろず相談所《たんよう》は いつもお客様のそばに……

平素は、当金庫に対しまして何かとお心寄せを賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、安心してお取引をいただくために、2025年9月期決算や経営内容の一端について「半期REPORT2025」としてまとめさせていただきました。

お目通しいただき、《たんよう》のより一層のご理解と引き続きのご支援、ご愛顧をよろしくお願い申し上げます。

但陽信用金庫と地域の絆

当金庫は、大正15年に但馬（朝来市生野町）にて創業。山陽地域にご縁を拡げ、昭和63年5月、東播磨の加古川市に本店を移転。南但馬を含めた兵庫県中南部を事業区域に、中小企業者や地域の住民による会員組織の金融機関として、相互扶助による「地域の発展」「豊かな暮らしの実現」を共通の理念としています。

地域のお客様からお預かりした大切な預金は、地域で資金を必要とされるお客様にご利用いただき、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として中小企業者や地域の住民の皆様との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めています。

また、金融サービス機能の提供にとどまらず、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標でもある「地方創生」への参画や文化・環境・福祉・教育・観光といった面も視野に、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでいます。

地域貢献・地域活性化支援に関する取組状況

■「NPO法人 但陽ボランティアセンター」への人員派遣など、継続して取り組んでいる活動

～ボランティアを始めて30年～

当金庫は、阪神淡路大震災以降、30年間、ボランティア活動を継続しています。2000年1月以後は、ボランティアを目的に設立した「NPO法人 但陽ボランティアセンター」に、金庫から毎日数名の職員を派遣して、車いすを利用されている方々へのリフト付福祉車両による「移送サービス」等の支援活動を続けています。

そのほか、

- 高齢者宅（約2,300軒）へのケア訪問
- 職員向け「認知症サポーター養成講座」の開催、啓蒙活動への協力
- 「認知症バリアフリー宣言」を公表
- 食品ロス削減活動の一環として全店ロビーにて「フードドライブ」を実施（通年）
- 全店舗ATMコーナーへのAED配備と職員向け「普通救命講習」の継続開催
- 「こども110番の店」への登録
- 中古学生服リユース活動への協力
- 献血活動への協力、骨髄バンクドナー登録会への協力

などの活動を継続しています。

「認知症バリアフリー宣言」のロゴマーク

■地域における地方創生事業への参画

当金庫は、地域の活性化や雇用の創出に向け、各地域の地方創生事業へ積極的に参画しています。

・【加古川市】「ネーミングライツ」を活用した自治体への協力

加古川市は、スポーツ施設や文化施設、公園等に企業名や商品ブランド等を冠した愛称をつける「ネーミングライツパートナー」を募集しています。当金庫は【加古川市営駐車場】【加古川ウェルネスパーク】の2施設のパートナー企業に決まりました。

2025年4月1日より、両施設には"たんよう"を冠した「愛称」が付与され、当金庫が負担する命名権料が施設の維持管理やサービス向上に役立てられます。

【愛称】
・たんようカーパークつつじ

【愛称】
・たんようウェルネスパーク

・【姫路市】「道路照明灯サポーター制度」を活用した自治体への協力

姫路市は、2025年4月より、市道に設置された道路照明灯に対する関心と愛着を深め、道路照明の維持管理に寄与することを目的とする「道路照明灯サポーター制度」を導入しました。

対象となる道路照明灯は、JR姫路駅南の市道・駅南大路の街灯20基で、当金庫は、4基の街灯にサポーター企業として登録し、道路照明の維持管理に協力しています。